

鉄パイプが落下 歩道の男性死亡

六本木防護パネル未設置

15
10
16
20
14日午前9時50分ごろ、東京都港区六本木のマンション工事現場から鉄パイプが落下し、近くの歩道を歩いていた新宿区東五軒町、無職飯村一彦さん(77)の頭に刺さり貫通した。警視庁麻布署によると、飯村さんは搬送先の病院で死亡を確認。一緒に歩いていた70代の妻も病院に運ばれたがけがはなかった。

麻布署によると、飯村さんが倒れていた場所の上には、資材などが路上に落下するのを防ぐ防護パネルや防護ネットが設置されていなかった。

真上のマンション10階付近では足場の解体作業が行われており、同署は未設置部分か

ら鉄パイプが落下したとみて、安全対策や解体手順が適切だったのか、業務上過失致死容疑で調べている。

捜査関係者によると、工事関係者が「誤って鉄パイプを落とした」という趣旨の話をしている。